

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シブヤ精機株式会社 浜松本社	階数	地上4階
建設地	静岡県浜松市中央区材木町1272番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2023年10月31日
敷地面積	24,350 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 中部建築
建築面積	9,315 m ²	確認日	2023年10月31日
延床面積	19,132 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 中部建築



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用年数の長い建材の採用や更新・修繕に配慮した計画とするなど建物維持管理等を効率的に実施できる計画としている	その他 特になし
Q1 室内環境	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に植栽を設けるなど周辺の風景に配慮した計画とした
Q2 サービス性能	耐用年数の長い建材の採用や更新・修繕に配慮した計画とするなど建物維持管理等を効率的に実施できる計画としている	
LR1 エネルギー	高効率機器を採用するなど省エネルギーに寄与している	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率を抑制している
LR2 資源・マテリアル	リサイクル資材を採用し、省資源に努めている	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)シブヤ精機株式会社 浜松本社移転新築工事	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8 /5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.9 /5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 /5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	
			ふつう 3 点以上	
			がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.8
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③ブラインド・庇を組み合わせて制御 	Q-1 2 2.1 2.2	① 外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.13	② 昼光利用設備	
	Q-2 2 2.2 2.2.1	③ 昼光制御	
	2.2.2 ④ 躯体材料の耐用年数	④ 躯体材料の耐用年数	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI0.80 ⑧BEI0.67 	LR-1 1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
	2	⑧ 自然エネルギー利用	
	3	⑨ 設備システムの高効率化	
	4 4.1	⑩ モニタリング	
<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪主要水栓は自動水栓を用いており、かつ節水型便器を採用している ⑫長尺塩ビシート(タジマジェスタ) ⑬躯体と仕上げが容易に分別可能 ⑭有害物質を含まない材料の使用: 接着剤(エコGAセメント) ⑮ガラスウール使用のため、ノンフロン 	LR-2 1 1.1	⑪ 節水	
	1.2 1.2.1	⑫ 雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2	⑬ 雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1	⑭ 材料使用量の削減	
	2.2	⑮ 既存建築躯体等の継続使用	
	2.3	⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.4	⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.5	⑱ 持続可能な森林から産出された木材	
	2.6	⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1	⑳ 有害物質を含まない材料の使用	
3.2 3.2.1	㉑ 消火剤		
3.2.2	㉒ 断熱材		
3.2.3	㉓ 冷媒		
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO=79% 	LR-3 1	⑭ 地球温暖化への配慮	
	2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	2.9
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯ 耐震性	
	2.1.2	⑰ 免震・制振性能	
	2.4 2.4.1	⑱ 空調・換気設備	
	2.4.2	⑲ 給排水・衛生設備	
	2.4.3	⑲ 電気設備	
	2.4.4	⑲ 機械・配管支持方法	
	2.4.5	⑲ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	2.9
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳3.7m以上 ㉑壁長さ比 0.05 	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱ ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
	3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) 	Q-3 3 3.1	㉒ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.7
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	2	㉓ まちなみ景観への配慮	
	3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 	LR-2 2 2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	